

教職員の主体性と同僚性を育む「放課後ちょいスクール (Choice、Cool)」

高松市総合教育センター 研修係長 河田 祥司, 指導主事 葛西 久美子, 指導主事 河北 理加, 指導主事 大胡 賢太郎
 キーワード: 教員研修, ICT活用推進, 教員の主体性, 同僚性, OJT 促進

実践の概要

希望する教職員を対象とした、放課後 30 分のちょっとしたスクールを月 2 回程度開催。オンラインで教育委員会と各学校をつなぐことで、ニーズを発掘し、柔軟に企画(内容等)を立案。学校内だけではなく、学校間のつながりを生みだし、OJT を促進する装置となりつつある。

1. 目的・目標

(1) 背景

新学習指導要領の実施や GIGA スクール構想の実現に向けた取組など、多種多様な変化に適切かつ柔軟に対応することができる資質・能力をどのように育ていけばよいのか。

これまでの研修では、「研修に参加したくても、登校日には子どもがいるので少人数しか参加できない」「研修会場の規模や、使用できる端末数に限界があり、希望者全員を受け入れられない」「研修を受けた者が学校内で還元するための時間やスキルが不足し、伝わりきらない」「新型コロナウイルス感染症防止のため、参加人数や研修方法(協働作業)等に制約がある」「研修計画(講師や内容等)が固まっており、柔軟に内容を変更したり追加したりできない」等の課題が見られた。

教育委員会(総合教育センター)において、新型コロナウイルス感染症の影響で、集合研修の中止や内容の変更を余儀なくされる中、教員研修の役割や在り方を大きく問い直す時期が来ている。

(2) 新たな考え方による学びの場を創出

これらの課題を踏まえ、新しい時代に柔軟に適応する教職員を育てるために、主体性と同僚性を高める新たな教員研修「放課後ちょいスクール (Choice、Cool!)」を開発する。遠隔会議システム (Zoom や Teams) とホームページ (以下: HP)、Microsoft Forms (以下: Forms) を組み合わせ (図 1)、ねらいに迫る。

2. 実践内容

2.1 放課後ちょいスクール (Choice、Cool!) とは

同時双方向のオンラインによる放課後 30 分を活用したちょっとしたスクール。名のとおり、教職員が自ら「Choice」することを重視し、希望制となっている。

2.2 放課後ちょいスクール (Choice、Cool!) の仕組み

実施までの流れは、図 1 のとおりである。



図 1 放課後ちょいスクールの概要図

参加者は、高松市内の小中学校だけが見られる内部 HP に掲載されている予定を見る。

次に、申込フォームから個人で申し込む(写真 1)。

最後に、示された ID 等で参加(入室)する。

2.3 放課後ちょいスクール (Choice、Cool!) の特長

従来から行っている基本研修や職務研修等の研修と放課後ちょいスクールを比較すると、表 1 のようになる。

集合ではなく、オンラインで実施することで、移動を含む参加までの負担軽減(時間的課題)の改善、部屋の大きさや新型コロナウイルス感染症の影響による人数制限(空間的課題)の改善、貸し出せる端末数による研修内容の制約(物理的課題)の改善を図ることができる。



写真 1 内部 HP の様子

表 1 主な研修と放課後ちょいスクールの比較

項目	主な研修	放課後ちょいスクール
研修形態(実施場所)	集合(総合教育センター)	オンライン(各学校)
時間	3 時間程度	30 分
実施時期	平日午後(長期休みは除く)	水曜日の放課後(月 2 回程度)
準備時間(移動時間も含む)	平均 15~60 分程度	平均 5~10 分程度
人数制限	あり(部屋の広さや端末数による)	なし
端末利用制限	あり(センター保有 約 60 台)	なし(各学校による)
研修内容の周知時期	前年度 3 月末に 1 年間分の通知	開催 1 カ月前に HP で通知
旅費	発生する	発生しない

また、旅費等もかからないので、費用や手続きに係る業務も発生しない。

放課後、複数回にわたり、自分が参加したいものだけを選び、多人数で気軽に集うことができるところが特長である。

2.4 放課後ちょいスクール (Choice、Cool!) の工夫

教職員の主体性と同僚性を育むために、次の5つのことを重視している。

(1) 主体性の尊重

「Choice、Cool! (選ぶことは、かつこいい!)」は、課せられるのではなく、教員自らが「選ぶ」ことを大切にしている。コーディネーターを務める指導主事も「みなさ～ん！こんにちはー！」と、笑顔としなやかな態度で場を和ませ(写真2)、牧歌的な雰囲気づくりを心がけている。年齢や経験年数に関係なく、教員の「自ら学びたい、関わりたい」というポジティブな気持ちを引き出すことを大切にしている。



写真2 コーディネーターの様子

(2) 双方向性の重視

30分の短い時間であっても、一方的な情報提供ではなく、双方向性を重視。必ずQ&Aの時間を確保し、個々の困りごとを参加者で共有して解決を図ったり、現場のニーズを把握したりしている。

11月には、現場の要望を生かし、ヨガインストラクターを招いて、「ヨガ at school」を実現した。高松市内の小中学校の放課後がヨガでつながった。

(3) 同僚性の向上 (OJTの促進)

オンラインなので、学校にて複数の同僚と一緒に学ぶことができ、実施後のOJTの促進も期待できる。互いに学び合いながら同僚性の向上を図るとともに、参加者同士で意見の交流ができるようにすることで、学校間や校種間で顔見知りを増やし、学校内外で気軽に情報共有できる風土づくりを行っている。

(4) 即時的で柔軟な研修内容の設定

現場のニーズを捉え、柔軟に研修内容に反映することができるように、1カ月前に内部HPに内容を公開した。参加者の要望を生かした企画も早期に実現させることで参画意識が高まるようにした。

(5) 参加しやすい状況づくり

①内部HPの案内と申込のデジタル化

市内の小中学校のネットワーク内のみでアクセスすることができる内部HPに随時内容や一部動画等を公開している。

また、これまでの申込方法は、学校で取りまとめてメールで送付することとしていたが、内部HPより個々にFormsで申し込めるようにすることで、学校と主催者の

業務削減を図った。

②開催曜日と時間の固定

月2回程度、水曜日の16時から16時半に開催。曜日と時間を固定することで、教員が記憶しやすくするとともに、学校側の調整もしやすいようにした。

3. 成果

学校や校種をこえてのべ約450名(11回)の教員が集まった(表2)。「これまでのように、参加申込を管理職が一括でまとめて提出しなくていいので、容易に参加できた」「オンラインのため、移動時間や旅費が発生せず、気軽に参加することができた」という声が多数あり、自分の思いで容易に参加できることがうかがえた。

また、「一緒に参加した先生にすぐに聞くことができるので安心(後日も含む)」「質問がしやすく自分が悩んでいることが聞けた」と、自らの課題に応じて解決できる機会の提供につながったり、「ちょいスクールで知り合った先生に後日電話で聞いた」など、教員同士の新たなつながりが生まれたりしている(上記QRコードよりテレビ報道参照)。

最近では、連絡掲示板に「今日ちょいスクールです」と書き込んだり、水曜日の放課後に会議を入れずに参加しやすい環境を作ったりする学校も現れ、認知度も高まってきたことがうかがえた。

最近では、連絡掲示板に「今日ちょいスクールです」と書き込んだり、水曜日の放課後に会議を入れずに参加しやすい環境を作ったりする学校も現れ、認知度も高まってきたことがうかがえた。

4. 今後に向けて

開始1カ月後の調査で、約51%の教員が「放課後ちょいスクールを知らない」と答えていることから、認知度の向上によりさらなる広がりが期待できる。

1年目は、認知度アップ。「知っていたら参加したのに」という声をなくすこと。2年目は、システムの安定とさらなる質の向上。「誰もが偶然出会った人とつくる充実した30分」を増やしていくこと。3年目には、「水曜日は、放課後ちょいスクールがあるから、会議を入れるのはやめよう」と、学校側が水曜日の放課後を見据えた時間の編成を行うことを目指したい。

そのためにも、放課後ちょいスクールのねらいや特長が従来の研修とは違うことを伝え、ポジティブで多様性と柔軟性に満ちた組織風土を、放課後の学校から創出していけるように取り組んでいきたい。

表2 5月から9月までの内容

回	主な内容
1	始まるよ、ちょいスクール (Choice、Cool!) GIGA端末どう使う? ~設定・運用編~
2	GIGA端末をどう使う? ~日常づかい編~
3	外国語(英語)の授業づくり【外部講師】
4	【SkyMenuCloudの活用編】 授業が変わる! 校務が変わる! 今から試したくなる活用法
5	事例で学び合う! 「困っている子どもへの具体的な支援」 ~特別支援学級の子どもたちへの支援について一緒に考えよう~
6	【Microsoftアプリ活用編】 高務改善につながるアプリ活用①【外部講師】
7	教師も子どももワクワクする道徳科の授業と評価①【外部講師】
8	夏休み前の子どもたちに語りたい! デジタル社会の歩き方 「情報モラルとデジタル・シティズンシップ教育」【外部講師】
9	【Microsoftアプリ活用編】 情報収集の強い味方! アンケートアプリ「Forms」活用術 岩崎編
10	【Microsoftアプリ活用編】 Teams 初級編 Teamsでちょいスクールに参加しよう!
11	子どもと比べるGIGA端末活用術! 授業で使える「まとめる」スキル①~画像の切り取りと貼り付け編~



テレビ報道